

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	36919
事業名	子ども安心ネットワーク強化費					
評価担当課	所 属	子)児童相談所 地域連携課			電話番号	011-622-8620
施策名	支援や配慮が必要となる子どもや家庭が、困難な状況に応じた適切					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託			○ 補助・助成	○ その他	

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	児童虐待通告及び児童相談に対して迅速に対応するための体制を整える。
	事業内容(何を実施し)	①子ども安心ホットライン 電話相談員が対応することで、24時間365日体制で虐待通告や養護相談を受け付けた。 ②児童家庭支援センター運営費補助 児童家庭支援センター(6ヶ所)に対し、国庫補助基準に基づき運営費を助成した。 ③SNS相談 業者に委託し、国のSNS相談支援システムに寄せられる相談へ対応した。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	増加する虐待通告及び児童相談に対応するため、子ども安心ホットラインやSNS相談を運営し、また、地域の児童に関する相談の専門窓口である児童家庭支援センターを増設して児童相談支援体制の強化及び適切な役割分担を推進する。
	他都市の状況	児童家庭支援センターは、政令指定都市の多くにおいて、児童養護施設に併設する形で設置しており、各センターの運営にかかる財源は自治体の補助金等が大半となっている。 SNS相談体制構築については、現時点でほぼすべての他政令市においてSNS相談に対応する方針(すでに独自にSNS相談を行っている自治体も含む)を取っている。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	96,972 千円	うち特定財源	52,099 千円	正規職員業務量	0.3 人工
令和5年度予算額	138,000 千円	うち特定財源	61,936 千円	正規職員業務量	0.2 人工
令和5年度決算額	119,260 千円	うち特定財源	63,147 千円	正規職員業務量	0.2 人工
令和6年度予算額	137,000 千円	うち特定財源	59,019 千円	正規職員業務量	0.2 人工

指標	アウトプット活動指標1	電話相談件数(参考)				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		3104	3200	2942	3000		
	↓						
	アウトカム成果指標1					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	目標件数には届かなかったものの、相談や虐待通告があった来電には適切に対応できていることから、今後も取り組みを継続していく。					
	アウトプット活動指標2	児童家庭支援センター設置数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		5	6	6	6		
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方	児童家庭支援センターを増設したことにより、市民からの通告及び相談を幅広く受理し、迅速に対応することができる体制を作ることができた。今後も取り組みを継続していく。					

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	①電話相談体制の強化及び電話相談員の相談技術の向上を図る。 ②児童相談所と児童家庭支援センターの役割分担を明確化し、適切な役割分担を推進する。